

国際儀礼の基本講座 ～その13～

平成23年1月
地方連携推進室 杉田明子

Q 外国の高位、高官への敬称、呼称の使い方について、留意すべき点は何でしょうか？

A 【ワンポイント・アドバイス】

外国の高位、高官への敬称・呼称は、正確性を期すために、使う前に必ず確認することが大事です。

【解説】

1. 外国の高位・高官の敬称・呼称は、肩書きによる一般的な規則性はありませんが、使う前に個別に確認して間違えないようにすることが大事です。大統領、首相、閣僚、大使は、一般的に「His (女性の場合, Her) Excellency +フルネーム」と表記されます(注1)。しかし、中には、貴族の称号などを併せ持っている人がいます。(注2)「His (Her) Excellency」という敬称をもつ人の呼称は、「Your Excellency」となり、略式の呼称は、男性に対してはSir (サー)、女性に対してはMa' am (マアム)が使われます。(注3)

(注1) 英国では、「His (Her) Excellency」のあとに、Mr.やMrs. Missなどを入れますが、アメリカでは入れません。

(注2) たとえば、「His Excellency Baron+フルネーム」(男爵の称号を持つ場合)や「His Excellency Sir+フルネーム」(騎士(ナイト)の称号を持つ場合)など、複数の敬称を重ねることがあります。

(注3) 英国では、首相、閣僚などの敬称は、「The Right Honourable+フルネーム (「The Rt. Hon.」と略するのが普通)」です。また、アメリカでは大統領の敬称は、「The President of the United States」であり、呼称は、「Mr. President」(女性が大統領の場合は「Madame President」)となります。

2. 臨時代理大使、公使、総領事などに対する敬称は不要です。いずれも「Mr. XXX, (女性の場合, Mrs., Miss, またはMs.) YYY)」と表記し、呼びかけ

ます。ただし、上記と同様、爵位や学位を持つ場合もありますので、敬称・呼称を使う前には必ず確認することが大事です。

3. 地方自治体の首長の場合、英国では、主要都市の市長は、「The Right Honourable+フルネーム (The Rt. Hon. と略するのが普通)」という敬称が使われます。またアメリカでは、「The Honorable+フルネーム」という敬称を使います。アメリカでは、知事の呼称は、「Mr. Governor (女性の場合, Madame Governor)」、市長の呼称は、「Mr. Mayor (女性の場合, Madame Mayor) 」となります。

参考資料：宛名の書き方	
学位や職業上のタイトルのない一般男性、女性	単身 Mr. , (Mrs. , Miss, Ms.) +フルネーム
	夫妻 Mr. and Mrs. +男性のフルネーム (注1)
博士号をもつ人	単身 Dr. +フルネーム
	夫妻 Dr. and Mrs. +男性の名前 (注1)
大統領	単身 His(Her)Excellency +フルネーム、 President of 国名
	夫妻 His(Her)Excellency the President of国名and Mrs. +姓のみ/男性のフルネーム (またはMr. 男性のフルネーム) (注2)
首相	単身 His(Her)Excellency +フルネーム、 Prime Minister of 国名
	夫妻 His (Her) Excellency the Prime Minister of国名 and Mrs. +姓のみ/男性のフルネーム、 (またはMr. 男性のフルネーム) (注2)
外務大臣	単身 His(Her)Excellency+フルネーム、 Minister of Foreign Affairs of 国名
	夫妻 His(Her)Excellency the Minister of Foreign Affairs of 国名and Mrs. +姓のみ/男性のフルネーム (またはMr. 男性のフルネーム) (注2)

大使	単身 His (Her) Excellency + フルネーム、Ambassador of 国名 (注3)
	夫妻 His (Her) Excellency the Ambassador of 国名 and Mrs. + 姓のみ / 男性のフルネーム (または Mr. 男性のフルネーム) (注2)
臨時代理大使、公使、参事官、書記官、総領事	単身 Mr., (Mrs., Miss, Ms.) + フルネーム (注4)
	夫妻 Mr. and Mrs. + 男性の名前 (注1)

注1 一般的な夫妻として招待する場合は上記表のとおりとするが、女性の地位が高い場合は次のように書く。

(例) Mrs. (Dr., Ms.) Anna Smith and Mr. John Smith

注2 夫人の書き方は、米国では Mrs. + (姓のみ) とするが、欧州では、Mrs. + (男性のフルネーム) とすることが多い。

注3 特命全権大使の英語の正式名称は、Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary

注4 ビジネスでは Mrs. や Miss のような結婚の別にこだわらない Ms. が使われることが多いが、Ms. は書き言葉のみに使われるのが原則。